

りべん! 猿沢 9

vol

2014.9.15 発行

豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る

おらだりや
宝もの
各集落のお宝に
スポットを
当てるコーナー

縄文時代の遺跡 〔上野〕

遙か昔の縄文時代、上野には人々が暮らしていたと思われる土器や石器が見つかっています。上屋敷遺跡(縄文時代中期)は「猿沢小学校裏」とも呼ばれ、クルミなどを割るときに使用した石や、川漁で使用した錘(おもり)とみられる遺物が多数出土しています。今でも耕作をしていると、それらしきものが見え隠れします。

上野遺跡(縄文時代晩期)は、「古寺跡」とも呼ばれ、昔の寺院があったと伝えられている所です。昭和の初めころから地面に出ていた土器や石器が採取されていて、装身具など立派なものも発見されたという話もあるとかないますか。

出土した遺物は、以前は旧猿沢小学校および中学校で保管されていましたが、現在は市教委が保管しています。



▲上屋敷遺跡の出土品。
写真上：クルミを割るときや川漁で使われた石器。
写真下：煮炊きに使用した縄文土器。

みなさまからの「声」を募集しております。

「猿沢地域まちづくり協議会」では皆さんの意見をまちづくりに反映させていければと考えています。そこで、やってもらいたいイベント等がありましたらぜひ事務局までご連絡下さい。よろしくお祈りします。



参加者募集中! まちづくりイベントにあなたも参加してみませんか?

猿沢地域一斉クリーン作戦開催!

日時：10月12日(日)朝～/会場：各集落
猿沢地域一斉クリーン作戦が今年も上記の日程で開催されます。自分たちのムラは自分たちできれいにしよう!



そばづくりイベント第2弾! 収穫体験!

日時：10月19日(日)/会場：まほろば温泉裏
8月の種まきから始まり今回はいよいよ収穫です。前回参加しなかった人も大丈夫! 今回もみんなで汗を流して楽しみましょう!



選手募集! 第52回朝日駅伝大会

開催日：11月3日(祝)
今年も恒例の朝日駅伝大会が開催されます。参加したい方は事務局までご連絡ください。たすきをみんなでつないでいこう!



あしがき

▼8月16日に「猿沢地域盆おどり大会」が盛大に行われ、楽しい時間を過ごした。▼しかし、「踊り子」に子供達の姿が少なくとても寂しく感じた。昔は各集落で盆踊りを実施し、大人も子供も大勢踊っていたような気がする。▼模擬店や抽選会の楽しさだけでなく、伝統行事「盆踊り」自体にもう少し力を入れ、大勢の子供が踊りに参加してくれるような工夫をしていきたい。(鈴木信義 猿沢)



発行元・お問い合わせ

- 発行 猿沢地域まちづくり協議会
- 事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢 5611 番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)
- 連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-0328
MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
- HP でも活動の様子を公開しております
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/>

今年もいろいろなことがあった猿沢の夏

- 今年も盛況だった猿沢地域盆おどり大会 1P
- 鶺鴒路は歴史と伝統あふれる魅力ある集落だった! 2P
- 集落のまちづくり活動の様子 3P
- 猿沢小学校との協働事業 3P
- おらだりやねらだりの宝もの 4P
- information (お知らせ) 4P
- 秋のお楽しみ行事 4P
- あとがき 4P



今年も盛況だった猿沢地域盆おどり大会!

お盆の伝統行事の継承と、地域住民の交流を目的に「第3回猿沢地域盆おどり大会」を開催し、今年も約500人の参加をいただきました。昨年に引き続き、猿沢・松原の「盆踊り」で熱気に包まれました。



最後に行われる恒例の豪華懸賞抽選会!



事前練習会の様子

最後に、会場に足を運び大会を盛り上げてくださった皆様、ご厚志を賜りました皆様、そして運営にご協力いただいた全ての皆様に、紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

鵜渡路は歴史と伝統あふれる 魅力ある集落だった！

6月28日(土)、猿沢地域の魅力ある資源の再発見を目的に、「鵜渡路集落ウォーキング」を開催しました。会場
の集落センターには、猿沢地域を中心に約40名の住民が
参加しました。



「遺澤存古」の記念碑の説明を受けている様子

数年前に全容が明らかになった「三十三石仏」。



「新明宮」について説明している案内人に聞き入る参加者たち。



弁慶が持ち上げたとされる「弁慶の手懸け石」の説明を受けた後、2グループに分かれた参加者は、集落の案内人に導かれ、集落センターをスタートしました。

最初は伊須流岐神社です。源義経が奥州へ下り当地を訪れた際、夢に伊須流岐の神が現れ、「山中通りは危険なり、海道を通るべし」とお告げがあり、その難を逃れたことで伊須流岐五社を氏神としたそうです。境内には、金毘羅山、古峰ヶ原、湯殿山、稻荷大明神がありました。

旧夜学校は、鵜渡路集落の青年教育のために、集落の有志が寄付金を集めて建設されました。維持費は官有地を払い下げ、桑園や桐を植栽して資金に充てたそうです。集会所として昭和60年まで使用されてきました。



集落の青年教育の場となった「旧夜学校」。脇には「如来観音像」も。



参加した若い子たちが模造紙描きでもとても頑張ってくれました。



「佛澤寺」の中でお話を聞きながら休憩しました。



「伊須流岐神社」の前で記念写真！

参加者の声

鵜渡路の「お宝」を興味深く拝見させて頂き、明治時代に若者が学んだ夜学校、観音公園として整備された三十三石仏の存在は、サプライズ的な感動でした。地域の歴史や伝統を次世代に継承することの大切さを、肌で感じる事が出来ました。集落の皆様のおもてなし、関係者のご苦労に感謝いたします。

(榎本多佳子 松原)

鵜渡路の歴史・文化・伝統に触れ、後世に「つなぐ」ことの大切さを感じたイベントでした。企画された関係者の方々、そしてウォーキングに参加して一緒に汗を流した皆様との交流も含め、とても有意義な1日でした。

(大滝和男 宮ノ下)

ゆっくりと鵜渡路集落をめぐる、各所で集落の方の説明を受けながら、歴史文化に触れることができました。地元の食材を活かした風食も美味しく、改めて生まれ育った地元を好きになれるイベントでした。

(笠川秀華 下中島)

集落のまちづくり活動の様子

六年ぶりに寺尾会を開催 帰省者との交流会

お盆の8月15日、帰省した寺尾出身者と地元の人達とで、交流会を行いました。地元開催は6年ぶり、今回で三回目となり当日は集落センターに、35名の「寺尾のしよ」が参集しました。

今年亡くなられた方を偲び黙とうを行った後、佐藤栄区長が集落の人口構成や長寿者などの現状を説明。また県外在住者で結成された「寺尾会」の新井洋司会長が、14年前に会を結成した経緯などを話してくれました。



その後大海・炭火焼のアユ・枝豆・なす漬など故郷ならではの「馳走」を食べながら、ビールや地酒を酌み交わし旧交を温め、大変有意義な交流会となりました。

(板垣淳一(寺尾))

宮ノ下に生まれた まちづくりの新しい動き

宮ノ下集落の60代を中心とした「井戸端の会」と、30代〜40代の有志を中心として集まった「宮ノ下を考える若衆の会(仮称)」のグループが共同で、8月23日の夜、宮ノ下公民館にて、長谷川勲先生による「地名から探る宮ノ下のむかし」という講座を開催しました。この会では宮ノ下の河内神社と雲上佐市郎伝説との関係を、長谷川先生独自の調査で解き明かしていくもので、遠くは、神林の川内集



長谷川先生と参加者の皆さん



落の方も来場し、集落内外含め37名の方が参加しました。これらのグループは、秋に毎年行われている集落行事「農林漁業祭」でも楽しいことをやろうと思案中。宮ノ下でのまちづくりの新しい動きが生まれそうです。

(石田光和 宮ノ下)

猿沢小学校との協働事業

「学校」と「地域」をつなぐ「かけ橋」として

7月、猿沢小学校と猿沢地域まちづくり協議会の協働事業として、三つの事業を計画しました。地域の皆様には、チラシと告知端末(TV電話)で呼びかけました。協議会では、子どもたちが安心して活動できる地域づくりを目指し、将来の地域を担う子どもたちに多様な体験の場を提供していきたいと考えています。

◎7月11日 朝のあいさつ

通学路や自宅前に立ち、元気に登校する児童への声かけを呼びかけました。当日はあいにくの大雨に見舞われ、参加者も少数でした。今後も、猿沢小学校の毎月11日「あいさついい日」に併せて、継続して取り組んでいきます。



◎7月11日 救急法講習会

夏休みのプール開放に向け、PTA主催による「救急法講習会」を実施していますが、今年から地域の皆様にも参加していただこうと呼びかけました。村上市消防署の職員の方から、心臓マッサージやAEDの使い方をなど、実践的な講習を受けました。お陰様で、昨年の2倍以上となる40名の参加をいただきました。



◎7月15日 盆おどり講習会

小学校の体育授業の時間をお借りして、「盆おどり講習会」を開催しました。全児童が太鼓を叩いて盆踊りのリズムを体験しました。地域の皆様には、踊り方の講師としてご協力いただきました。最後に参加者全員で踊り、体育館には大きな盆踊りの輪が出来ました。